

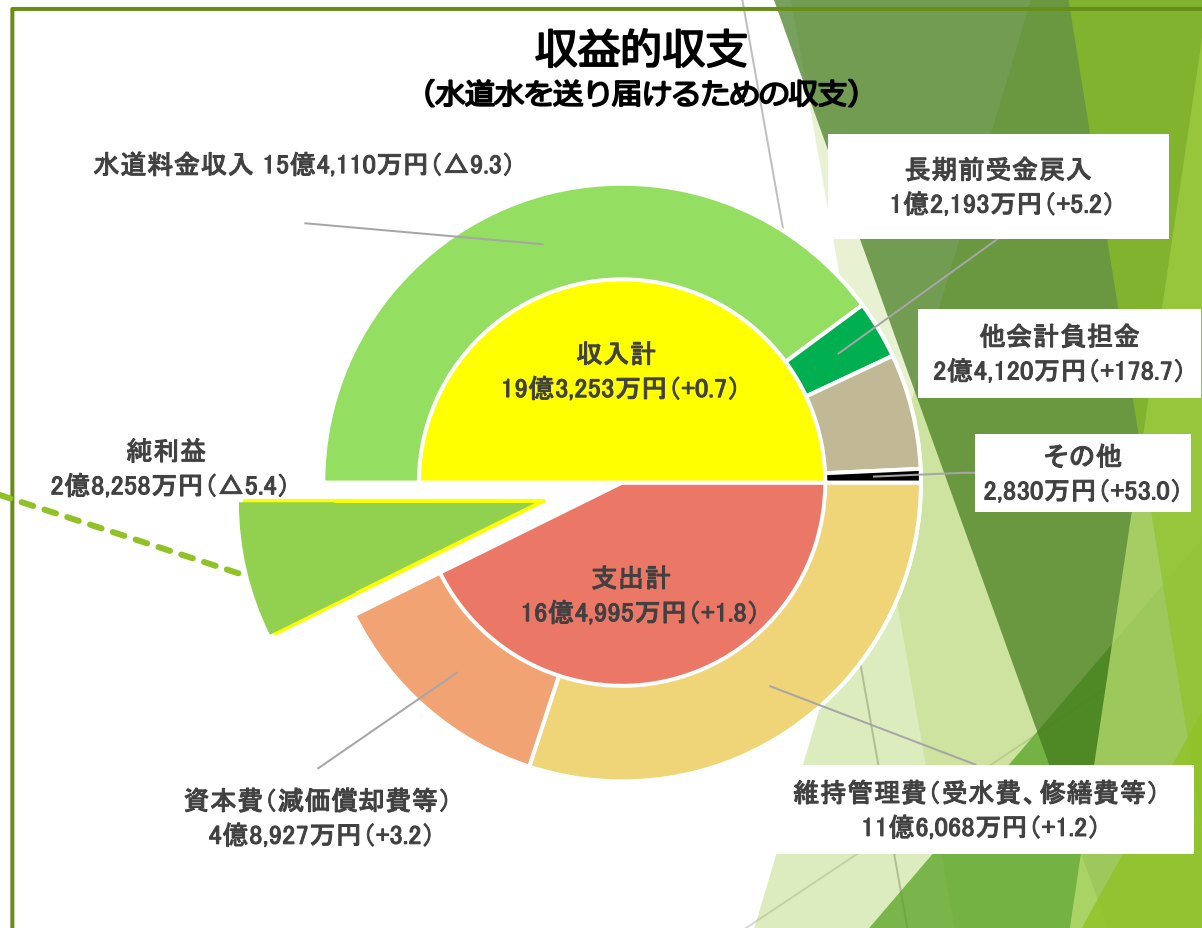
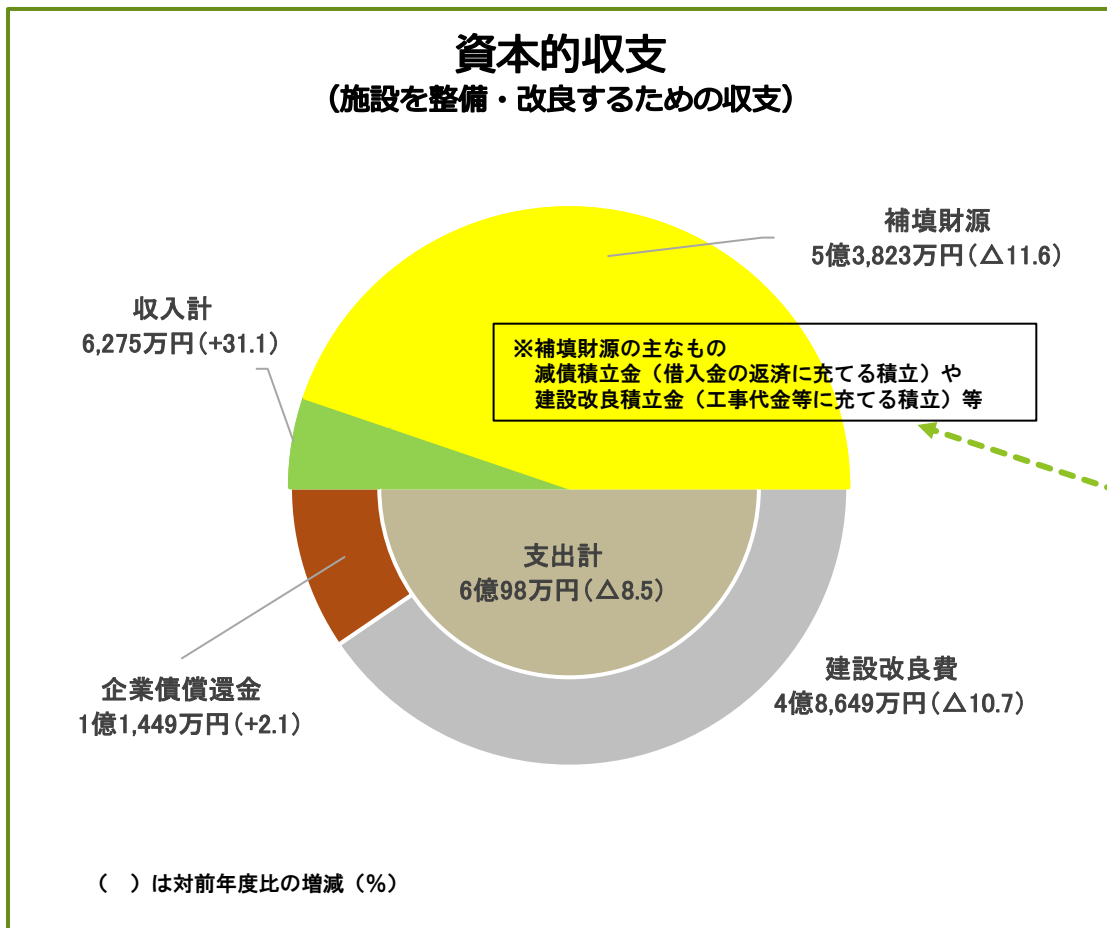
# 令和4年度 上下水道事業の決算について

米沢市上下水道部 業務課

# 水道事業の給水人口、配水量等の推移

科目	年度	単位	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	増減 (A-B)	対前年度 比率 (%)
給水人口		人	76,303	77,746	△ 1,443	98.14
給水戸数		戸	33,301	33,153	148	100.45
年間総配水量		m <sup>3</sup>	9,959,670	10,112,892	△ 153,222	98.48
年間総有収水量		m <sup>3</sup>	8,264,345	8,393,900	△ 129,555	98.46
有収率		%	82.98	83.00	△ 0.02	-

# 令和4年度水道事業決算の概要



収益的収支では、令和4年度において新型コロナウイルス感染症に伴う生活支援として基本料金及び10m<sup>3</sup>までの従量料金2か月分を免除したことから、給水収益が減少しましたが、その分一般会計からの負担金収入を得て、2億8,258万円の純利益を計上しました。

資本的収支では、建設改良工事等が減額となったことなどから、支出が令和3年度と比較して5,608万円の減となり、収支差引では5億3,823万円の不足となりましたが、純利益や内部留保資金等で補填しました。

# 下水道事業の水洗化人口、処理水量等の推移

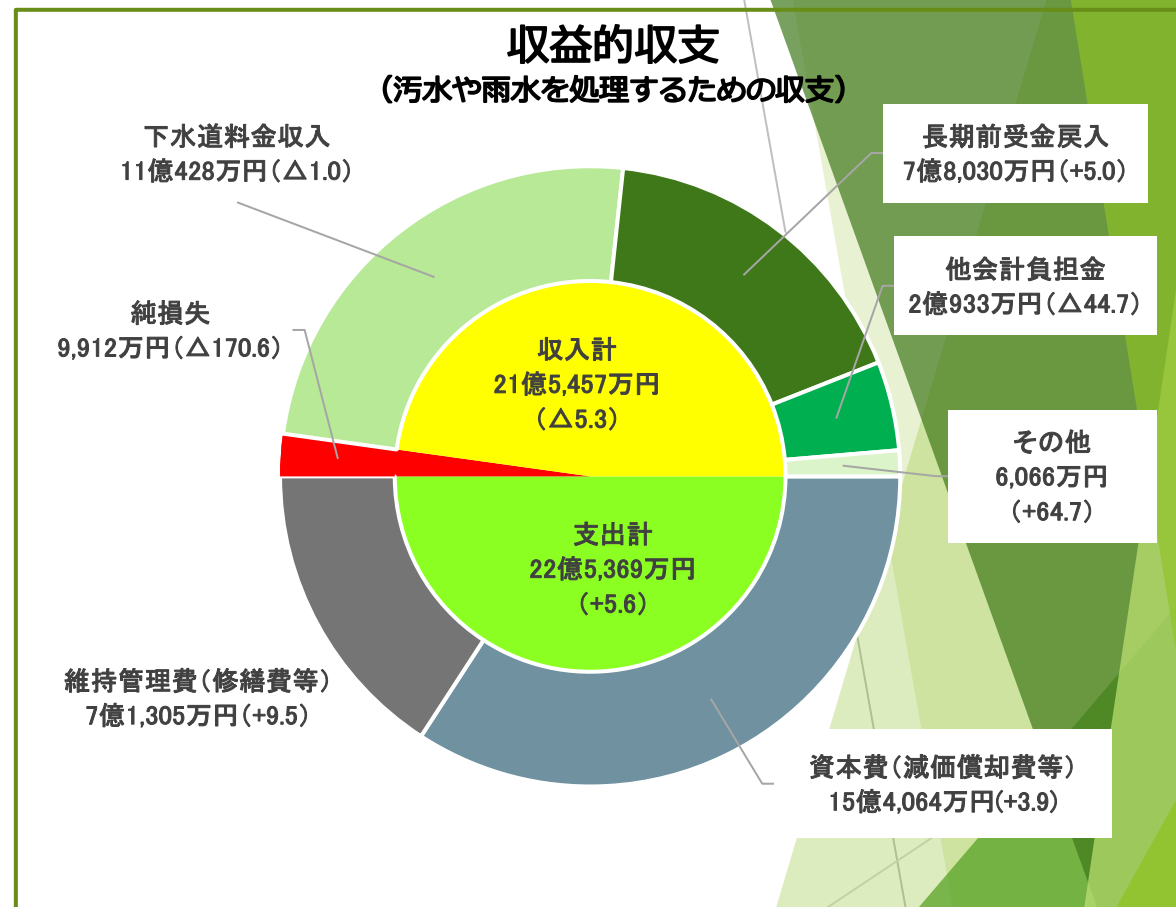
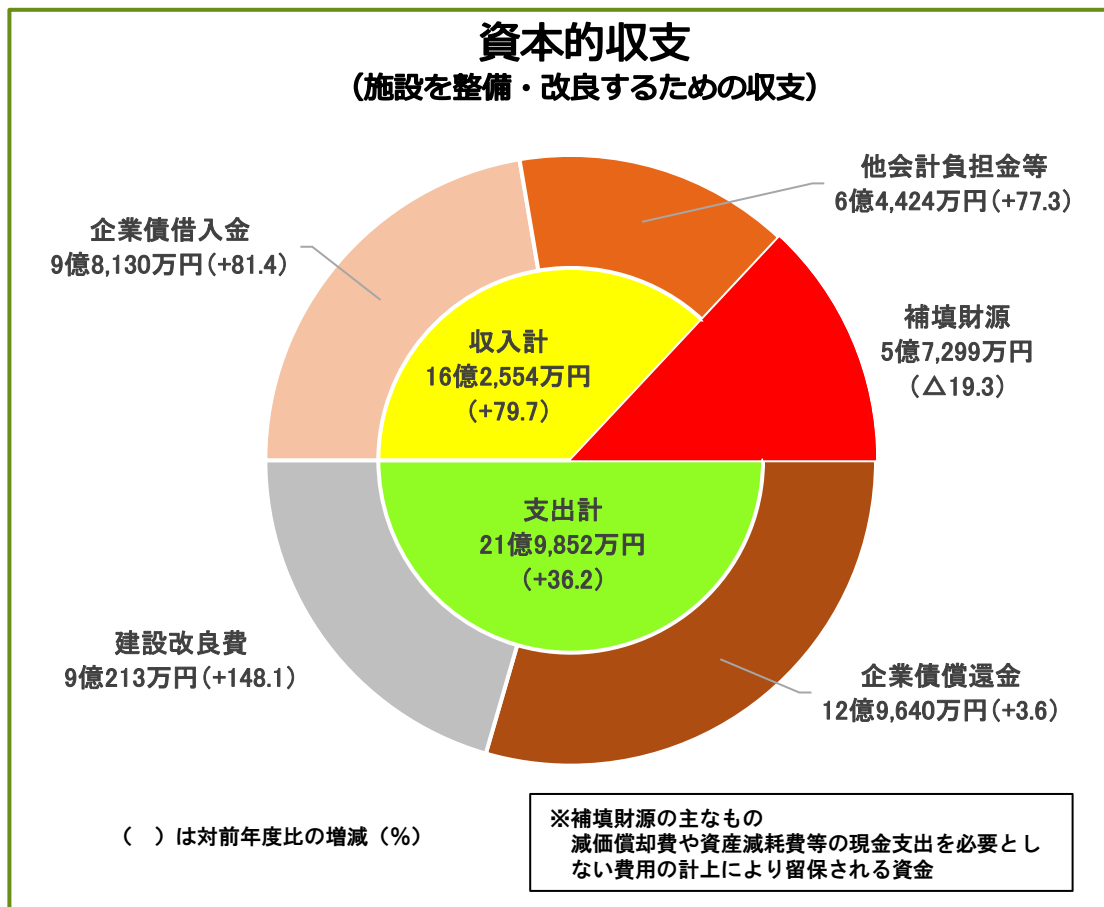
## 公共下水道事業

年度 科目	単位	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	増減 (A-B)	対前年度 比率 (%)
水洗化人口	人	44,193	44,723	△ 530	98.81
水洗化世帯	戸	19,339	19,217	122	100.63
年間総処理水量	m <sup>3</sup>	9,361,980	8,985,730	376,250	104.19
年間総有収水量	m <sup>3</sup>	7,704,178	7,777,987	△ 73,809	99.05
有収率	%	82.29	86.56	△ 4.27	-

## 農業集落排水事業

年度 科目	単位	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	増減 (A-B)	対前年度 比率 (%)
水洗化人口	人	342	348	△ 6	98.28
水洗化世帯	戸	117	116	1	100.86
年間総処理水量	m <sup>3</sup>	31,147	31,925	△ 778	97.56
年間総有収水量	m <sup>3</sup>	32,163	32,492	△ 329	98.99
有収率	%	103.26	101.78	1.48	-

# 令和4年度下水道事業決算の概要



収益的収支では、一般会計からの繰入金の減額や維持管理費の増額等により、9,912万円の純損失を計上しました。  
 資本的収支では、建設改良工事の増額に伴い、企業債及び補助金が増額となったことなどから、収入が令和3年度と比較して、7億2,109万円の増となり、収支差引では5億7,299万円の不足となりましたが、内部留保資金等で補填しました。

## 監査委員の審査意見

### ▶ 水道事業

良好な数値を示し、事業会計は健全経営が保たれている。

今後の課題としては、人口減少や水道需要の減少傾向等により、給水収益は減収していき、さらに管路老朽化による更新や耐震化など建設更新事業等の増加が予測され、経営環境は厳しさを増す。

こうした状況でも安全でおいしい水を安定供給するため、計画に基づいた事業運営と、効率的・効果的な経営に努められたい。

### ▶ 下水道事業

地方公営企業は独立採算制が原則とされているが、本市の下水道事業会計は一般財源の繰入金に依存し、採算割れの赤字体質から脱却できない状態にある。

持続可能な経営基盤を築くために、農業集落排水事業のあり方や、令和7年度に操業予定のし尿処理事業収益なども加味しながら、適正な使用料の改定の検討が必要と考えられる。